

≪ 姫路東高校の一押し本100選 ≫ 一部紹介します！！

著者名	書名	内容・推薦者コメント
木皿 泉	昨夜のカレー、明日のパン	二十五歳で亡くなった一樹。嫁と義父と一緒に暮らしながら彼の死を受け入れていく。日常の出来事にどう向き合い、乗り越えていくかが見どころ。
岸見 一郎 古賀 史健	嫌われる勇気—自己啓発の 源流「アドラー」の教え	アドラーの思想をまとめた一冊。苦しくて負けそうになった時、自分が新しく変わるための苦しみ、いわば、脱皮途中なのだと考えていきたい。
喜多川 泰	君と会えたから……	無気力に過ごしていた平凡な高校生が、美しい女の子と出会うことで変化していく。読みやすく、人生の教訓をたくさん得られる一冊。
喜多 喜久	二重螺旋の誘拐	理系ミステリー。読み終わる頃には、「二重螺旋」の意味がわかるはず。DNAではないのだ。理系の研究者の世界を垣間見ることができる。
久保田 競	ハカはなおせる	脳を効果的に発達させる方法。脳を鍛えるための方法がわかりやすく書かれている。
クリストファー・ロイド	137億年の物語	宇宙が始まってから今日までの歴史を、四部に分けて綴る。歴史の教科書にはない、スケールの大きさが魅力。
黒柳 徹子	本物には愛が	時代を切り拓いた人の人生哲学や未来へのメッセージを聞くテレビ番組を単行本化。日本のテレビの変遷が興味深く、著者の人生訓が心に響く。
香月 日輪	下町不思議町物語	転校先でなじめずにいた直之。からかわれても挫けない直之が、家出する。個性の違いや対人関係をどう受けとめるべきか考えさせられる。
越谷 オサム	ボーナス・トラック	「僕」と幽霊がタッグを組んだ犯人探しの騒動。読みやすく、勉強の合間に楽しめる。
坂木 司	夜の光	天文部を隠れ蓑として未来というミッションのために戦うスパイたちの青春小説。青春を思いっきり生き抜く四人に胸が熱くなる。